区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（２月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

着実な区政課題の解決と持続可能な区政運営を

戸籍住民課窓口

問 コンビニ交付の利用拡大に向けた周知方法の進捗状況を伺う。また手数料について、繁忙期など期間を限定して見直しを行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 コンビニ交付の利用拡大に向けた取り組みとして、周知用ポスターなどを作成し掲示を行うほか、広報かつしかや区ホームページで積極的に周知を行う予定である。手数料の見直しについては、区民サービス向上の観点から、期間限定的な見直しができるよう取り組みを進めていく。

※他の質問項目　待ち時間短縮　など

観光・文化のまちづくり

問 水元公園内へのスケートボード広場の整備について、現在の検討状況と令和10年度の開設に至るまでの具体的な整備スケジュールについて伺う。

小菅西公園スケートボード場（完成予想図）

答 令和8年2月に基本計画の策定を、令和8年度から9年度にかけて基本設計・実施設計を行う。令和9年度から10年度にかけて整備工事を行い、並行して開設準備を行うことで令和10年度中の供用開始を目指す。

※他の質問項目　水元レンタルボート事業　など

金町街づくりと都市計画道路補助第138号線整備

問 金町駅南北自由通路の整備調査の状況と、今後の南北自由通路の整備スケジュールについて伺う。

答 令和6年度からJR東日本が主体となり、流動調査などを行っている。その結果を踏まえ、地上案・橋上案について令和7年度から令和8年度までの期間で施設計画や概算工事費の算出などに係る調査を行っている。令和9年度以降の事業化を目指し、JR東日本との協議を進めていく。

※他の質問項目　理科大学通り　など

他の質問件名　今後の区長の区政運営、小松南小学校改築

区民ニーズ、地域特性を的確に把握し区政への確実な反映を

地域公共交通計画の推進

問 グリーンスローモビリティについて、地域公共交通計画でどのような役割を果たすと位置付けているのか伺う。

答 本計画では、地域密着型の交通手段として位置付けている。交通事業者の担い手不足が見込まれる中にあっても、地域特性に応じた小さな移動ニーズに持続的に対応できる交通モードの役割を果たすものとしている。

※他の質問項目　高齢者の外出機会の確保　など

障害者支援体制

問 今年度から実施する予定の、重度障害者を受け入れるグループホームの運営費や設備改修費の一部助成制度の状況について伺う。

答 本区では今年度から重度障害者を受け入れる施設を対象に一部助成を行う取り組みを開始するため、制度の詳細を詰めているところである。引き続き東京都とも連携・協力して障害者の福祉の向上や家族の支援の充実に努めていく。

※他の質問項目　障害者に対するレスパイト事業　など

旧森永乳業工場跡地の物流施設

問 地域貢献棟に関する地元の自治町会からの要望案に対し、できる限り実現できるよう、本区としても働きかけを行われたい。区の見解を伺う。

答 事業者からできる限り地域要望を実現できるよう、さらなる検討を行っていくとの方向性が示されている。今後も積極的に協議を行うとともに、当該施設が操業後も地域の一員として交流を深めていくことができるよう本区としても働きかけていく。

※他の質問項目　防災政策上の位置付け　など

他の質問件名　スタジアム構想の実現に向けた東新小岩運動場敷地活用

葛飾区議会公明党

物価高騰対策・教育・医療面で区民に寄り添った区政運営を

認知症施策

問 認知症に対するネガティブなイメージの払拭に向けて効果的なPRを展開していく必要があると考えるが、区はどのように進めていくのか伺う。

答 現在行っている「認知症サポーター養成講座」をより多くの方に受講してもらい理解を深めていただくとともに、集客力の高い商業施設で認知症VR体験などのイベント開催を検討していく。

※他の質問項目　もの忘れ予防健診　など

シルバーパス

問 都が引き下げた負担額について、区独自で支援してさらに引き下げ、高齢者が活躍できる環境整備を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 より多くの高齢者が活躍できる環境整備につながるよう、他区の先行事例も参考にしながら検討していく。

火葬場

問 東京都に対し、都と区が連携して火葬の在り方を検討する「検討会」の設置を具体的に働きかけるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 これまで特別区長会を通じて、民間火葬事業者に対し適正な経営や管理を行うことを要請するとともに、国に対しては民間火葬場の火葬料金の設定に当たり、あらかじめ行政が関与する仕組みを法令に規定することなどを要望している。今後も都と連携して国に必要な措置を講ずるよう求めるとともに、検討会の設置についても働きかけていく。

※他の質問項目　料金改定　など

他の質問件名　今後4年間の区政運営と物価高騰対策、教育

区民のための検診体制と地域に根差したまちづくりを

本区における今後の検診体制の強化

問 区民の行動変容を確実に促すため、個人ごとに健診通知を統合し、年に一度、一括で送付する仕組みを導入していく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 健診通知を統合化することにより、まとめて健診に関する情報をお届けでき、受診勧奨の効果が得られるものと考える。そのため、医師会をはじめ実施医療機関の協力のもと、健診時期や健診に用いる帳票類の調整を行っている。今後、関係機関と連携し、健診通知の統合化の実施に向けた検討を進め、健診体制の強化を図っていく。

※他の質問項目　眼科健診　など

デフリンピック東京大会

問 デフリンピック東京大会を一過性のイベントに終わらせず、さらなる区民の安全・安心、共生社会の創出に向け積極的な取り組みを行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 本区では他の自治体に先駆けてコミュニケーション条例を制定し、普及啓発講座の実施やオンラインで区の窓口と手話相談が受けられる環境整備に取り組んでいる。今後は区からの情報提供の在り方の工夫をはじめ、手話通訳や文字表示の工夫により、障害のある方とのより良い共生社会の実現に取り組んでいく。

デフリンピック閉会式の様子

※他の質問項目　環境整備　など

他の質問件名　自転車の青切符制度、東新小岩運動場におけるスタジアム構想、地域のまちづくり

かつしか区民連合

学童保育の運営改善と停電時の避難運営体制について

宿泊施設に関する現状と課題、今後の対応方針

問 民泊については上乗せ条例制定後も必要に応じて、さらなる規制強化や追加措置を検討していく姿勢が求められる。区はどのように運用体制を整備し、改善を図っていくのか伺う。

答 条例の施行後は、これまでの対応に加え積極的に実態を把握するとともに、既存施設に対する現場調査も実施し適切な条例の運用体制を構築していく。

※他の質問項目　観光推進　など

学童保育の運営改善と安全確保・負担軽減に向けた取組

問 所得制限を満たすひとり親家庭医療費助成受給世帯を学童保育料減免の対象に含めることを検討すべきではないか。

答 学童保育クラブ使用料については、各世帯の所得状況に応じた負担軽減に努めている。したがって、基準を超えた所得のあるひとり親家庭医療費助成受給世帯を新たに減免対象とすることは、応能負担の観点から課題があると考えている。

ひとり親家庭サポートガイド

※他の質問項目　学童保育クラブにおけるおやつ代の無償化　など

停電時の避難所運営体制と実践的訓練の強化

問 総合防災訓練や各地域の避難所訓練において、停電を想定した対応をどの程度実施しているのか伺う。

答 避難所には停電や通信途絶を想定して発電機や無線機などを配置し、避難所開設を想定した訓練などで使用方法を確認している。今後も訓練などで、ライフラインの途絶などの事態を想定した取り組みを推進する。

※他の質問項目　備えの強化

がん検診の受診率向上に向けた現状分析と受診勧奨策

問 受診率向上に向けて、受診券の個別配布など、確実に届く形の受診勧奨策を検討すべきと考えるがどうか。

答 本区が実施するさまざまな健診案内と併せて、対象となるがん検診の受診券を一括送付することを検討している。取り組みの効果を検証し、他自治体の例を参考にしながら、受診率向上に向け積極的に推進していく。

※他の質問項目　受診率の現状分析　など

日本共産党葛飾区議会議員団

低投票率は区民の失望の現れ。生活支援の拡充を強く求める。

11月9日投票で行われた区長選挙の結果

区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（２月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

問 区長は再選を果たしたが、選挙のたびに得票数を減らし続け、また区長を被告とする5つの裁判も行われてきた。政治不信、区政への無関心の表れではないか。区長の認識を伺う。

答 私の得票は投票数の6割を超えており、また、直近の区議会議員・区長選挙の投票率も今般の選挙と同様の水準で推移していることから、この結果が政治不信や区政への無関心の表れであるとは考えてない。

今後の区政運営

問 政府は、物価高騰対策として自治体によるお米券の配布など一人当たり3千円相当を想定しているが、本区が上乗せをして、全世帯へお米券を直ちに配布すべきと思うがどうか。

答 11月21日に政府が閣議決定したため、国や東京都の施策と連携した物価高騰対策について検討を進めていく。

問 高齢者の社会参加、福祉の向上を図るため、シルバーパスを年額千円で使用できるようにすべきと思うがどうか。

答 他区の先行事例も参考にしながら、検討していく。

問 小中学校進学の際、入学祝い金10万円を支給すべきと思うがどうか。

答 現時点で、新たに入学祝い金の支給を実施する考えはない。

※他の質問項目　生活保護　など

民間まかせの公共交通では区民の移動の権利は守れない

本区の公共交通施策

問 葛飾区は区民の移動を人権の一つとして積極的に保障していく立場に立つべきと思うが、区長はどう考えるか。

答 既にさまざまな観点から区民の日常生活や社会生活に必要となる移動手段の確保に努めている。

※他の質問項目　公共交通の無料化　など

葛飾区地域公共交通計画等

問 かつライドの利用料500円は休止したバス路線の代替としては極めて重い負担である。元のバス料金に準じた金額に値下げすべきではないか。

答 バス料金に準じた金額に値下げすることは現時点では考えていない。

※他の質問項目　降車ポイント　など

かつライドのパンフレット

かつしか立憲

区民相談・学校支援の体制強化　地域を豊かにする街づくり

区民相談体制の充実

問 福祉・保健・教育など複数分野にまたがる支援の連携の取り組みと、情報共有や支援調整の強化を伺う。

答 複数の課題を抱えた世帯に対して、関係機関の担当者による支援会議を開催し情報共有を行うとともに、支援の方向性や役割を定め、きめ細かい対応を行っている。さらに庁内で相談支援を行う課の課長級の会議を設け、情報交換などを行うことで組織的連携の強化にも取り組んでいる。

※他の質問項目　複数の課題を抱えた方の把握　など

一人一人の学びを支える学校支援体制の強化

問 自閉症・情緒障害学級、知的障害学級のデジタル教材の導入状況や、運用面での課題認識について伺う。

答 自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する児童・生徒へのデジタル教科書の導入や、一部の小学校の知的障害特別支援学級に在籍する児童にも学習アプリの導入を行っている。課題は、児童・生徒の実態に応じた教材や授業での活用方法について研究を続ける必要があると認識している。

※他の質問項目　人的配置　など

高砂地区のまちづくり

問 高砂駅の連続立体交差事業および周辺の街づくりの進捗について伺う。

高砂駅の踏切

答 駅周辺の街づくりは、連続立体交差事業に併せて、交通結節機能の強化や交通ネットワーク形成を図るため都市基盤の検討を行っている。こうした中、高砂地区開発協議会では高砂地区まちづくり方針（仮称）を取りまとめた。区ではこの方針を基に高砂駅周辺地区まちづくりガイドプランの改訂を行う予定である。

※他の質問項目　高砂四丁目団地跡地利用の今後の取り組み

みらい葛飾（生活者ネット・無所属）

子どもの権利保障の取り組みと不登校支援情報の提供を

子どもの権利保障

問 本区ではホームページ内に子どもページを開設し、匿名で子どもの声を聴くためのこえポス、専門家が対応する相談（意見表明）を受けるためのフォームを新たに設けたが、相談は0件であった。葛飾区社会的養育推進計画の中で、子どもが権利に関する相談をしやすい環境にするため、その仕組みの見直しを行うとあるが、どのように取り組むのか見解を伺う。

答 意見表明フォームから意見が寄せられていない状況について、ホームページが分かりにくいなどの理由も考えられることから、今後は見直しを行っていく。また、意見表明支援員の訪問型支援の導入について検討を進め、より子どもたちが意見表明や相談がしやすい環境づくりに努めていく。

区立小学校の運動会の様子

※他の質問項目　子どもの権利についての周知　など

不登校支援

問 本区の不登校支援において民間との連携状況はどうか。また、不登校支援関連団体などに意見や、子どもたちや保護者の状況を聞き、実際の現場を見て、連携しながら不登校対策を進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 不登校児童・生徒およびその保護者の思いや声を丁寧に聞き取ることは、適切な支援を進める上で重要であると認識している。一方、フリースクールなどの不登校支援関連団体などについては、対象が葛飾区内の児童・生徒に限定されていないこと、また支援方法や利用料金が多様であることから、教育委員会として、これらの団体と連携を図ることは、現時点では考えていない。

※他の質問項目　不登校児童・生徒への給食費相当給付金等の検討　など

無所属（※1）

DX戦略で区民の利便性向上と行政の業務効率の両立を実現

区政運営や政策決定過程の透明性強化（区政の見える化）の現状

問 区政情報は区民にとって必要なタイミングで受け取れることが重要である。従来の紙によるお知らせだけではなく、AIなどを活用したプッシュ型の情報提供も必要ではないか。

答 区ではLINEを使用し、ユーザーが事前に欲しい情報を自ら選び登録することで、その方が必要とする情報を配信するよう配慮している。また、子どもの成長に合わせた配信も開始している。今後もAI活用の有効性などについて研究し、効果的なプッシュ型の情報提供を行っていく。

※他の質問項目　今後の方策　など

葛飾のDX戦略（スマートかつしか）

問 DX化で、人件費やコストの削減、業務効率にどの程度寄与できているか、具体的な数値など分かりやすい指標とその効果について伺う。

DXの推進

答 DXの分野は変化のスピードが速いため、今後デジタル推進計画は更新せず議会に報告をしながら取り組みを進めていくこととしたため、具体的な指標は現在定めていない。しかし、導入したことによる効果は数値化して示す必要があると考えており、現在、算出方法の検討を進めている。

※他の質問項目　利便性の向上　など

無所属（※6）

文化施設の区民利用の促進と体育施設の環境改善を

文化施設の区民サービス向上

問 かつしかシンフォニーヒルズは利用料金や利用条件において区民ならではの特典が十分に設けられていないと考える。葛飾区民が利用しやすくなるよう検討の余地はないのか。

答 現在、一定の要件を満たす文化・芸術団体に対し、利用料金を50％減額する制度を設けている。今後も、多くの区民の皆さまにご利用いただけるよう、見直しなどを検討していく。

※他の質問項目　申請方法の簡略化　など

屋外体育施設の環境改善

問 葛飾区河川敷の屋外体育施設において、日差しを避けるベンチや休憩所が不足している。現状の課題認識と、日よけのある休憩スペースの整備計画について伺う。

河川敷の運動場

答 日よけのあるベンチや休憩所については設置数が十分であるとは言えない状況である。現時点で具体的な整備計画を策定する考えはないが、近隣自治体の取り組み事例などを参考に、今後の対応を検討していく。

※他の質問項目　利用者視点での施設改善の推進

他の質問件名　不登校児童を抱える保護者への支援、学童保育の充実、介護と仕事の両立支援、小学校のトイレの改修工事